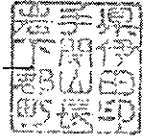


地 整 第 303 号
平成 20 年 10 月 17 日

国土交通省道路局長 様

山田町長 沼 崎 喜



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

貴職におかれましては、日頃から本町の道路行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、先般依頼のありました、道路行政全般についての意見・提案を提出しますのでよろしくお願い致します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

岩手県山田町

- (1) 道路整備予算については、遅れている地方の「真に必要な道路」の整備促進を図るため、地域の実情に合った予算配分を行うこと。
- (2) 高速交通のネットワークは、地域づくりを推進するためには不可欠なものであり、中央で論じられている採算・効果のみに偏重することなく総合的な観点から、国において早期に整備すること。
- (3) 町の道路整備に必要である地方道路整備臨時交付金制度、地方道路整備臨時貸付金制度を堅持すること。
- (4) 麻生総理が総裁選の際に指摘した「つながらない道路では意味がない。」との趣旨は、日頃私たちが実感し国に対して要望してきたことを適確に言い表したものである。必ず実行されることを期待する。

○現状

本町の交通網は、南北に縦断する国道45号及び平成14年8月に供用を開始した三陸縦貫自動車「山田道路」を軸に、県道3路線と町道が取り付き、交通網を形成しています。

しかし、三陸縦貫自動車道は市街地を迂回するバイパス的な役目が主となっております。町が期待している物資の流通面では十分な波及効果が生まれておらず、町の特産品である生カキを中央市場に出荷するのに9時間余りかかっております。

また、町では国道45号を補完し、さらに平成18年に移転新築開院した県立山田病院前を通る、重要な路線としての町道細浦柳沢線を整備しておりますが、昨今の財政事情から事業の促進に苦慮しているところであります。

このことから、県代行事業として採択されるよう要望しておりますが、県においても道路予算の厳しい状況に変わりなく、事業を休止しているところです。

○課題

三陸縦貫自動車道が全線開通すれば、物資の流通面では約2時間の短縮となり効果は生まれますが、さらに町としてこの道路をどうやって使いこなすかということが、これからの課題になっていくと思います。

また、住民が安心して安全に暮らしやすい町にするため、医療の中核である県立山田病院へのアクセス道路としての、町道細浦柳沢線の整備促進も、重要な課題と考えております。

山田町では、厳しい財政状況の中にあって、限られた財源の効率的な運用と行政経費の合理化を図り、堅実な財政運営による持続可能な行財政の確立を目指し、町政推進の基本政策として次の6項目を掲げております。

- 1 地域の特性を生かした農林水産業の活性化のための積極的支援
- 2 山田の魅力を生かした商工業・観光事業の育成強化
- 3 生活環境基盤整備の促進と山田の海を守る施策の充実
- 4 少子高齢社会に対応した子育て支援と福祉・保健医療の充実
- 5 教育環境整備で山田の未来を拓くひとづくりの推進
- 6 山田町の自立に向けた行財政改革のさらなる推進

この中で、1,2については、基幹道路が整備されることにより、大きな可能性が期待されるものである。

特に世界的な食糧危機が懸念されている中で、道路等の整備によって食料基地としての東北・岩手の存在価値がクローズアップされることになり、まさにあるべき将来像といえるだろう。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

岩手県山田町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域の自立、活性化	三陸縦貫自動車道の早期完成	地域間の交流機会が増えて活発になることで、心豊かな地域社会の形成と、食糧生産基地として農林水産物の流通インフラの向上は、時間の短縮による取引価格の安定などの効果により、農林漁家へ所得の向上をもたらし、地域が活性します。	
・津波の災害に強い町づくり	三陸縦貫自動車道の早期完成	生活環境基盤安定のため、津波時の避難路・救援援助・緊急物資・輸送路として機能する。	
・医療ネットワークの構築	三陸縦貫自動車道の早期完成及び地域高規格道路「宮古盛岡横断道路」の早期完成	地域総合病院「県立山田病院」と広域中核病院「県立宮古病院」及びセンター病院「県立中央病院」のネットワークが構築され、地域住民の安心が生まれ命が守られる。	